

校訓	真善美	令和8年度 学校だより	発行日	令和8年4月8日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 認め合う心 確かな学力 健やかな身を育てる	<b>「荒中だより」</b> 4月 卯月 第1号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

## 新年度のスタートです

新年度が始まりました。新3年生は、5クラス（198名）、新2年生は5クラス（178名）でのスタートとなりました。“はじまりの息づかい”



は、今しか味わえないものです。この新鮮な気持ちを胸に、今年一年の歩みを始めてください。

始業式では、今年1年で皆さんに身につけてほしい力として、「人とつながる力」「学びに向かう力」「心を動かす力」について、話をしました。

まず、人とつながる力です。挨拶や思いやり、相手を認める姿勢は、安心して生活できる空気をつくります。自らすすんで挨拶をすること。人との違いを前提に、自分も相手も認め合うこと。人と関わり、良い関係を築くことは、皆さんの学びや頑張りを支える土台となります。

次に、学びに向かう力です。問いをもち、主体的に考え、苦手なことやわからないことでも、粘り強く学ぶこと。その姿勢が、自ら考える力を養い、確かな学力となります。

最後に、心を動かす力です。美しいものや、誰かの一生懸命に胸を熱くする経験が、「やってみよう」と一歩踏み出す勇気を生みます。失敗を恐れず、今の自分を少しでも前へ進めようとする気持ちを育ててください。心が動くからこそ、挑戦し、未来を拓くことができるのです。

ほんじてってい

**「凡事徹底」**～“誰にでもできることを、誰にもできないくらいに大切にする”～

竹は、植えてから数年間、ほとんど伸びません。しかしその間に地中で根を広げ、力を蓄えています。そしてある時期を迎えると、一気に大きく伸びていきます。見えないところで積み重ねた時間が、ある日、形となって現れる。人の成長も、どこかそれに似ています。

時間や約束を守る。身の回りを整える。授業に向かう姿勢をつくる。提出物を期限までに出す。こうした当たり前の行動を丁寧に続けることが、皆さんの根を太くし、力を蓄えます。日常の小さなことを積み重ね、人と関わり、学びを深め、自分を少しずつ前へと進める、そんな一年にしてほしいと思います。春の光のように、静かに、しかし確かに広がっていく一年を、全校生の皆さんとともにつくっていきたいと思います。

## 学校教育目標について

「真善美」という校訓のもと、学校教育目標を「自ら考え、協働し、未来を拓く生徒の育成」と掲げ、認め合う心、確かな学力、健やかな心身の育成に努めてまいります。

### 【めざす学校像】

- (1) 自信と誇りが持てる学校
- (2) 温かい人間関係で結ばれた学校
- (3) 家庭・地域とともに未来を創る学校

### 【めざす生徒像】

- (1) 自ら挨拶し、よりよい関係を築く生徒
- (2) 自他を認め、思いやりを持って行動する生徒
- (3) 自ら問い、粘り強く学びに向かう生徒
- (4) 仲間とつながり、学びを高め合う生徒
- (5) 主体的に参画し、情熱を持って挑戦する生徒
- (6) 美しいものに感動し、一生懸命な姿に共感する生徒

### 【めざす教師像】

- (1) 自らの資質向上に努め、授業で勝負する教師
- (2) 生徒とともに汗を流し、情熱を注ぐ教師
- (3) ビジョンを持って協働し、生徒の成長を支える教師
- (4) 生徒の範となる向上心と信念を持ち、主体的に行動する教師
- (5) 地域の一員、責任ある社会人として行動する教師

## 教職員の異動について

令和7年度末をもって14名の教職員が本校を去ることとなりました。今まで本校教育を支えていただき、ありがとうございました。

また、令和8年度から同じく14名の教職員が着任しております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

感謝を  
こめこ



**自信と誇りを持てる学校を創ろう!!**